



十二月一日、山城第一組・山城第二組坊守会の報恩講が当院の法要ホールにてお勤まりになりました。



## 坊守会報恩講



△昨年の花まつりの様子です



十二月一日、山城第一組・山城第二組坊守会の報恩講が当院の法要ホールにてお勤まりになりました。



報恩講 九月二十四日～二十五日  
蓮如忌 三月二十四日～二十五日

報恩講や蓮如忌では、岡崎別院からもお手伝いや出仕をさせていただたり、お世話になつている別院さんです



秋彼岸に合わせ、本堂にて彼岸会の法要が執り行されました。

当日は大阪教区より、獅子吼の会所属の志紀正機師をお招きし、「念佛と聞法」を講題としてご法話をいただきました。

秋彼岸中は、ご家族や親せきを連れて、納骨堂へ多くの方がお参りされました。

当院にて「花まつり」を開催します。

「花まつり」は、お釈迦様が御誕生されたのが「4月8日」とされることから、お子様から祖父母の世代まで一緒に親しめる行事として、宗派を超えて多くの寺院で開催されます。

当院は、花御堂が安置され、誕生仏に甘茶をかけて誕生をお祝いする「灌仏会」が行われます。

また併せて、その他ご家族が楽しめる行事等も企画検討中です。詳細は4月発行の鏡池だよりにてお知らせします。

ぜひ4月十九日は、お参りをご予定ください。

## 九月秋彼岸

4/19 花まつり開催

おでらまいり

山科本願寺跡  
真宗大谷派山科別院長福寺

ご存じの通り、当院は親鸞聖人が京都時代を過ごしたと言われる「岡崎草庵の跡地」であり、「親鸞屋敷」として守られてきました。同様に、宗祖聖人の御生涯・大谷派本願寺の伝統を伝える寺院・由緒地が他にもあります。列座が実際に各地を参拝し、ご紹介します。

ぜひ一度、訪れてみてはいかがでしょう。



報恩講 九月二十四日～二十五日  
蓮如忌 三月二十四日～二十五日

岡崎別院から車で約十五分の場所に、真宗大谷派の別院「山科別院 長福寺」があります。由来は、本願寺第八代蓮如上人が、山科の地に本願寺を建立されたことがはじまりです。「寺中広大無辺にして、莊嚴さながら仏國の如し」と言われるほど壮大な伽藍は、当時の真宗興隆の様子がうかがえます。

当時の伽藍は一五三二年に焼失しましたが、江戸時代になり、第十七代真如上人の時に山科の地に御坊建設が計画され、当時東本願寺の境内にあった長福寺を移築し、一七三六年本願寺旧地に北接して山科御坊が建立されました。京都市内では、当院と山科別院、伏見別院の三別院があります。お近くにお住まいの方も多



△例年通り、本山法中と近隣寺院方が出仕され執り行われました



△報恩講では、普段とは違ったお莊厳になります。お莊厳されるお仏具は、ご門徒や三日講、護持会員の皆様のお手伝いのもと、事前にお磨きを行いました。また、花立や当日の受付などのスタッフ、法要後の片付けには、ご門徒や近隣寺院の方にもお手伝いいただきました。



△シフォンケーキが販売されました



△館内各所には有志の方々による盆栽の特別展示が設けられました。



この度、二〇二五年度の岡崎別院「報恩講」が円成しましたことを、ここにご報告させていただきます。

ご法中並びに参拝された皆様、当日の段取りや片付けなどお手伝いいただいた方々、お磨きや花立て準備に力添えをいたいた方々など、多くの方のお支えと志により、円成と相成りました。

紙面にて、改めて厚く御礼申し上げます。

太師  
竹橋  
「生死出づべき道・仏教の課題-」

△法要の後には、昨年に引き続き竹橋太師よりお話をいただきました。



十一月に、本山にて宗祖の御命日の法要「御正忌報恩講」が厳修されました。当院にも、本山へのお参りに合わせ、多くの団体の三日講員に皆様と、本山に参拝しました。

寒い中お越しいただきありがとうございました。

東本願寺  
親鸞聖人の祥月命日  
御正忌報恩講

